

ヒト免疫不全ウイルス(HIV)による免疫機能障害とは

HIVとはヒト免疫不全ウイルスという病原体です。このウイルスがヒトに感染すると白血球の一種であるリンパ球を破壊し、免疫機能を低下させ、発熱、下痢、体重減少、全身倦怠感などが現れます。特定の病状が現れたとき、エイズ(後天性免疫不全症候群)の発症となります。

免疫機能が低下すると、通常では問題にならないような弱い病原体によって、さまざまな感染症等が起こりやすくなります。

配慮してほしいこと

プライバシーには十分注意をしてください

個人情報ほかにもれないように個別的な対応をしてください

HIV感染者・エイズ患者が怪我をして出血した場合は、手袋を使用するなど直接血液に触れないようにしましょう

感染の不安がある場合の相談窓口

東京都エイズ電話相談 電話番号03-3292-9090



レッドリボンマーク

エイズに関して偏見を持たない、エイズと共に生きる人々を差別しない、というメッセージです。

携帯電話端末等の電波の影響について

- 携帯電話端末等の電波利用機器から発射される電波は、「植込み型医療機器(心臓ペースメーカーや除細動器等)」に誤作動を生じさせる場合があります。
- 総務省では、安心して安全な電波利用環境の整備・維持のため「各種電波利用機器の電波が植込み型医療機器等へ及ぼす影響を防止するための指針(ガイドライン)」を策定しています。
- ガイドラインでは、日常生活で注意するポイントとして、以下のことが示されています。
 - ・携帯電話端末と「植込み型医療機器」の装着部位との距離が15cm以下にならないように注意しましょう。
 - ・身動きが自由に取れない状況など、15cm程度の距離が確保できないおそれがある場合には、事前に電源を切るか、機内モード等電波が出ないように設定しましょう。

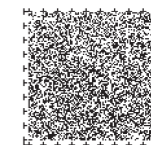
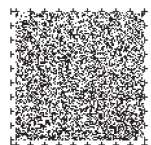
ハートプラスマーク

内部障害は外見からは見えないため理解してもらいにくい障害です。そこで人々の理解を求めることを目的に、障害者であることを示すためのマークを作りました。このマークは身体内部を意味するハートマークに、思いやりの心をプラスすることを表しています。(理解を求めることのみで法的拘束力はありません)



ヘルプマーク

義足や人工関節を使用している方、内部障害や難病の方、または妊娠初期の方など、外見から分からなくても援助や配慮を必要としている方々が、周囲の方に配慮を必要としていることを知らせることで、援助を得やすくなるよう、作成したマークです。詳しくはホームページをご覧ください。
http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/shougai/shougai_shisaku/helpmark.html



平成30年3月

発行：東京都心身障害者福祉センター 東京都新宿区神楽河岸1-1 セントラルプラザ
電話 03-3235-2952

東京都
再生紙を使用しています

内部障害の理解のために

内部障害って、どんな障害

内部障害とは、からだの内部に障害を持つ方のことで、外見からは見えないため、まわりの人に理解してもらいにくい障害です。種類としては、**心臓機能障害、腎臓機能障害、呼吸器機能障害、肝臓機能障害、膀胱・直腸機能障害、小腸機能障害、免疫機能障害(HIV)**があります。

例えば、こんなことに困ることがあります

ほとんどの方が外見からわからないため、混雑時電車・バスの優先席に座っていると不審な目で見られることがありストレスを受けることがあります。

若いくせに……

オレだって内部障害者
なんだけどなー!



このリーフレットについて

ここで紹介している情報がすべての内部障害のある方にあてはまるわけではありません。中途半端な知識と思い込みで、障害のある方に接することは、避けなければならないことです。「その人」の理解は、障害のあるなしに関わらず、お互いに一人の人間としてつきあう中で育まれるものではないでしょうか。